


業 種	鉄道
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	安全管理のキーマンとなるトレーナーの育成及びトレーナーによる現場要員への教育の推進
取組の狙い	それぞれの職場で安全管理に関する教育を行うことができる運輸安全管理トレーナー（以下、「トレーナー」という。）を計画的に育成し、トレーナーより現場要員に対して教育を実施することを通じて、安全管理に関する全社的な意識の向上を図る。
具体的内容	<p>運輸安全管理の考え方や内容は幅広く多岐にわたるため、現実的には階層（監督者であるか係員であるか）に合わせたレベルの内容を習得させる必要がある。</p> <p>今回、運輸安全管理の理解を深めるために、階層別（監督者、一般係員）に教育資料を作成して運輸安全管理トレーナー講習会を開催し、トレーナーが現業係員を教育する取組を実施した。</p>  <p>1. トレーナー育成のため、以下の取組を実施。</p> <p>① トレーナーは、運輸・技術部門の指導的立場にある職場長または教育担当者であり、運輸安全管理制度に関する基本的な知識を有している社員から約70名を選抜。</p> <p>② 計画的・継続的な教育プログラムを策定し教育・訓練を行うため、「運輸安全管理トレーナー講習会（一般係員編）（監督者編）」を実施。</p> <p>③ トレーナーには、監督者としての自己の理解を深めるために、運輸安全管理制度を詳細に解説する監督者編を受講したうえで、トレーナーとして係員への教育を担うために、ヒューマンエラーやマネジメントについて平易な形で解説する一般係員編を受講し、併せて教育スキルも学習。</p> <p>※ 講習実施後、アンケートを実施し、「一般係員が理解しておかなければならない内容について、監督者として共通の認識を有することができた」という意見の一方で、監督者編については、「関係条例など少し内容が難しかった」といった意見があった。</p> <p>④ 検証結果を踏まえ、運転士・車掌に関する事故事例を紹介した講習会内容を日常業務と関連付けた内容とするなど、必要に応じ見直しを実施。併せて、トレーナーのモチベーションを高めるために、上長による動機付けを実施。</p>

	<p>2. トレーナーにより現場要員に対して以下の取組を実施。</p> <p>① トレーナーにより、各部において現場要員に対して部門毎に作成した教育実施計画に基づき、現業監督者・一般係員を対象に、運輸安全マネジメントトレーナー講習での教育内容（一般係員編、監督者編）を実施。</p> <p>受講人数は下記の通り。</p> <p>（一般係員編） 運輸：約 1,350 名、技術：約 300 名  （監督者編） 運輸：約 270 名、技術：約 160 名</p> <p>※ 教育実施後、アンケートを実施し、「動画による事故事例紹介などが分かりやすかった」「本社（経営トップ）と現場が一体となって安全・安心に取り組むことが具体的に見えてこない」という意見があった。</p> <p>② 検証結果を踏まえ、各部門において、日常業務と関連した事故事例・ヒヤリハット事例を教育資料に盛り込むなど、運輸安全マネジメントに関する知識レベル向上を検討。</p>
取組の効果	<p>それぞれの職場におけるトレーナーが現場要員に対して教育を実施することにより、現場の安全管理のキーマンとして、より現場の状況を踏まえた教育が行われるなど、現場と密着した効果的かつ効率的な教育が実施できるようになった。また、現場での日常的に行われている安全指導についても、その指導内容がより充実してきたことなど、現場での安全管理の取組みに対する理解の醸成や安全意識の向上につながったものと思われる。</p>
事業者名	<p>南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 統括部  （連絡先 TEL：06-6644-7161 FAX：06-6644-7163）</p>